

成功への道

企業倫理 行動規範

CEO からのメッセージ

PETER ALTABEF

ユニシスの本質は誠実さであり、**当社の決定、行動、取引先といった企業活動の一切に浸透しています。当社は誠実さを最優先にしており、短期的な利益のためにこれを犠牲にしたり、同僚、取引先からの圧力に屈してこれを曲げることがあったりしてはなりません。**

従業員の皆さんには、誠実さをもって行動することを期待していますが、場合によっては何が正しい決断なのかということがすぐには分からないこともあります。そこで、本企業倫理行動規範を作成いたしました。本書は、当社の企業活動の方針を決定し、従業員の皆さんが倫理的に正しい決断を行う際の重要な原則を詳しく記載しています。

当社は、一切のハラスメントや差別を許容しません。

本行動規範は、全てのユニシス従業員に適用されるものであり、全ての従業員は本書をよく読み理解しなければなりません。決断が必要な際の不明点や、違反のおそれがあるのではないかと懸念がある場合は、ご連絡ください。当社は、通報できる風土作りを確固として支持し、通報者への報復を一切許しません。当社は、多様性、平等、受容性を重んじる、創造的で安全かつ責任ある共同体を作り上げています。

本行動規範は、ある意味では当社の「相手に助けを差し伸べる」という社風の延長です。本書は、従業員が一貫した倫理的決断を行い、こうした行為に互いに責任を持つことを手助けするものです。

当社が誠実な企業であるという評判は、一番重要なものです。従業員の皆さんが、倫理的行動を取り、かかる評判を維持しようとする意気込みを共通して有することは、当社の強みであり、また最大の資産の一つでもあります。

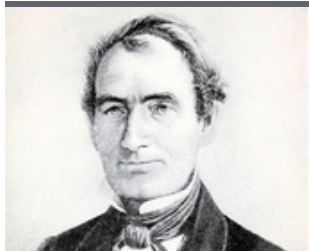


Peter Altabef
会長兼 CEO

目次

CEO からのメッセージ	2	資産及び情報に関する誠実さ	20
当社の価値観及び遺産	4	ユニシスの設備備品 その他リソースの使用	21
MICHELLE JONES		秘密情報 秘密情報及び知的財産	22
バイスプレジデント、副法律顧問、		個人データ	23
グローバル最高法令順守責任者	5	データプライバシーの原則	24
本行動規範の核となる誠実さ	6	記録管理	25
各従業員の責任	7	財務、費用、時間に関する正確な記録	26
各管理職の責任	8	情報セキュリティ	27
倫理的決断	9	社会及び政府との関係における誠実さ	28
第三者との取引	10	公的セクター及び政府職員との取引	29
職場における誠実さ	11	政治活動	30
多様性、平等、受容性と安全で互	12	外部とのコミュニケーションとソーシャルメディア	31
いを尊重する職場		慈善活動への寄付	32
多様性、平等、受容性と安全で互いを		インサイダー取引	33
尊重する職場	13	紛争鉱物及び人権	34
より多くの業務、困難な課題	14	輸出規制及び貿易制裁	35
公正な競争	15	反マネーロンダリング	36
不適切な支払い・利益、賄賂及び腐敗	16	環境	37
贈答・接待の申し出又は受け入れ	17	本行動規範の遵守	38
贈答・接待の取り扱い	18	誠実さをもった業務実施	39
利益相反	19	通報	40
		調査	41
		監督	42
		倫理コンプライアンス室への連絡方法	43

1816



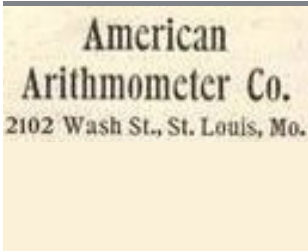
1873



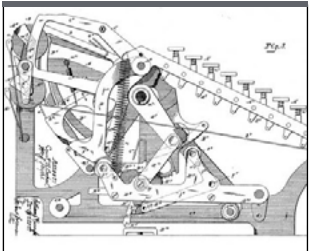
1878



1886



1888



1933



1946



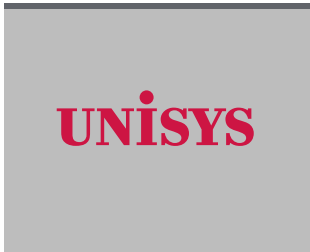
1953



1976



1986



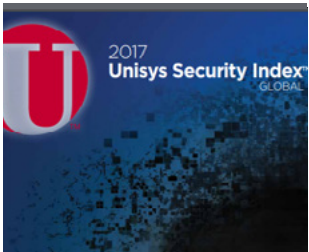
2001



2006



2017



2020



当社の価値観及び遺産

ユニシスは人々の生活を向上させる画期的な技術革新を多く生み出してきました。世界初のコンピュータの一つであるUNIVACの発明など、当社は世界中の企業、政府に技術的革新を届け、当社のクライアント、その顧客、地域社会に確実に良い成果を提供しています。このような情熱や目的意識をもって業界をリードする当社の原動力は何でしょうか？

好奇心: 継続的な学びを通し成長を促進します

創造性: 物事に取り組む際、過去の習慣を見直します

クライアント中心主義: クライアントの成功は私たちの成功です

誠実さ: 私たちは倫理的かつ誠実に行動します

包括性: 私たちは多様性、公平性、帰属性を受け入れます

次は、

あなたがユニシスの物語の次の章を執筆することになるのです。どのような章にしますか？

MICHELLE JONES

バイスプレジデント、副法律顧問グローバル最高法令順守責任者

本行動規範は幅広いリスク分野に亘る当社の基本原則、なぜこれらのリスクが重要であるのか、これらのリスクを管理するために従業員として何が期待されているかについて記載しています。現地の法令において本行動規範より厳しい基準が定められている場合は、そちらを適用しますが、従業員の皆さんにおかれましては、本書をビジネス上の決断行動を行う際に正しい疑問を持ち、正しい答えを見つける第一歩として捉えて頂ければと思います。

各章において、関連方針、ある質問、その他のリソースといったより詳しいガイドへのリンクが存在します。



また、倫理コンプライアンス室も、直接又は相談窓口を通して利用可能です。連絡先は、本行動規範の末尾に記載されています。ツールバー上の相談窓口のアイコンから連絡することも可能です。



管理職の方は組織内での責任が大きいため、それに合わせて義務も追加されています。倫理的な社風を作るためには倫理的なリーダーシップが重要であり、管理職の皆さんの積極的な参加なしには成し遂げることはできません。青色のボックスとこの記号をたどることで詳しい内容をご覧いただけます。



声を上げ、疑問を投げかけ、答えを得、正しい行動を取る。



Michelle Jones
バイスプレジデント、副法律顧問グローバル最高法令順守責任者



本行動規範 の核となる誠実さ

当社は、**一切の取引**において誠実さを保ち、
公正な行動を貫きます。

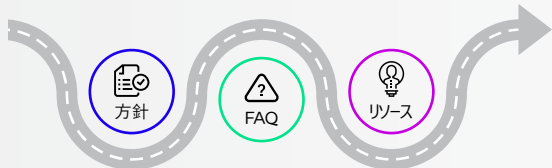


各従業員 の責任

法令遵守・倫理・誠実さ。これらの言葉も、ユニシスの従業員各自が自己の責任を受け入れなければ単なる言葉に過ぎません。皆さんは、ユニシス従業員として、本行動規範、ユニシス各方針・手順、法律を遵守する必要があります。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 本行動規範及び自身の業務に適用される方針、法令を読み、理解し、これらに従って行動することを誓約する。
- 本行動規範や関連方針の違反を見聞きし又は違反の可能性がある場合は、通報する。
- 内部調査に協力する。
- コンプライアンス・倫理関連の問題に関する必須訓練を課された場合はこれら全ての訓練を修了する。





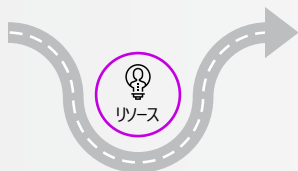
各管理職 の責任

ユニシスの管理職として皆さんはより厳しい基準に準拠することが求められており誠実さをもって部下を指導する特別な責任があります。管理職は倫理的に正しい行動の模範となりチームのメンバーも同様であるように積極的に対策を取らなければなりません。チームメンバーと意思疎通を活発にし意見を聴き倫理規範に基づいた思いやりと理解をもってメンバーの懸念事項や異なる意見を処理すれば、信頼醸成や生産性向上企業保護につながります。

管理職の皆さんは、自身の組織の事業活動に関連するリスクを理解し、積極的にこれらを軽減する活動を行うことが求められます。これらのリスクは、当社の事業が世界規模であることから生じるもので、本行動規範の対象となる分野を含みます。リスクを包括的に理解することにより、自身だけでなく、自身のチームメンバーも当該リスクの軽減のための行動を取ることができるようになり、全体的な成功へ貢献することとなります。

管理職は以下に従わなければなりません。

- 自身の業務に関連するリスクを特定し、定期的に関心についてチームメンバーと議論し、軽減措置を実施する。
- 結果的にビジネスチャンスを逃すことになっても、取引を獲得するために非倫理的又は違法な行為に決して屈してはならないことを明確に伝え、説明する。
- コンプライアンスに関する訓練を時宜に修了し、チームメンバーの修了についても徹底する。
- 相談しやすい雰囲気を作る。意見を聴いてもらえ、報復を恐れることなく疑問点や懸念事項を提起できるということを部下に分かってもらう。
- 違反行為のおそれがある場合、これを特定し、管理する方法を身に付ける。当該問題を倫理コンプライアンス室に調査の為に付託し、自身で調査、解決しようとするしない。





倫理的決断

誠実な社風を築くには、正しい決断を行うことから始める必要があります。本行動規範に違反し、事業を誠実に行うという当社の取り組みを危うくする可能性のある行動を取る前に、次の質問を自分に投げかけてみてください。

倫理的判断および優れた選択によって、誠実な文化が築かれ、職場は誰もが働きたいと思う場所となります。私たちが誠実に行動すれば、私たちは互いの、そしてお客様やビジネスパートナーとの信頼関係を築くことができます。倫理的ジレンマや難しい決断に直面したときには、以下の点を自分自身に問いかけてください。疑問があれば、助言を求めてください。



管理職はまた、自身のチームにおける倫理的問題が発生した場合は、倫理コンプライアンス室又は法務部から指示を受けなければなりません。

全ての答えが「はい」だった場合、恐らくその行動は正しいものです。

一つでも「いいえ」があれば、その行動を取ってはいけません。

あなたの行動は、本行動規範、当社方針、法律に則ったものですか？

いいえ

不可

はい ▼

あなたの行動が公表され、上司、同僚、家族、友人の知るところとなっても大丈夫ですか？

いいえ

不可

はい ▼

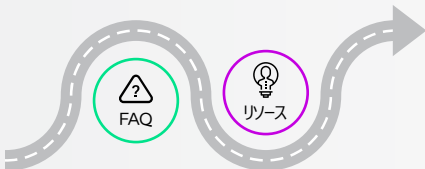
あなたの行動はユニシス、ユニシスの評判、ユニシスのビジネス上の利益にとって一番ためになるものですか？

いいえ

不可

はい ▼

可能





第三者

との取引

従業員が、日常的にコンサルタント、下請業者、供給業者、派遣臨時職員その他当社のために行動する人員などの第三者を指導、管理し又はこれらの方と接触がある場合は、当社のBusiness Partner Code of Conduct (取引先行動規範) に精通している必要があります。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 取引先が、取引先行動規範を受領、確認、遵守することを徹底する。
- 取引先が、取引先行動規範を遵守できるよう、疑問点や懸念事項を提起する機会 (ユニシスの相談窓口利用を含む) を与える。
- 取引先行動規範違反の疑いがある場合は、倫理コンプライアンス室に報告する。



職場における 誠実さ

当社は、互いに誠実さと尊敬をもって
接することにより互いを尊重します。



多様性、平等、受容性と安全で互いを 尊重する職場

当社は、多様なものの見方を尊重し、従業員、クライアント、取引先に対して誠実さと尊敬をもって接する事業環境づくりを目指しています。多様性は当社の強みであり、弱点ではありません。当社は、年齢、人種、国籍、性自認、性表現、妊娠、障害、性的志向、宗教、軍役経験の有無、その他の保護階層に関係なく、従業員の雇用、昇進、懲戒を行っています。同時に、マイノティーに対しても機会を創生しています。

ユニシスは、従業員全員が生産的、創造的かつ能力を発揮できるよう、お互いを尊重する、安全で健全な職場環境を維持しています。安全で、差別、ハラスメント、敵対行動のない職場を作る責任は、従業員各自にあります。ユニシスは、危険、不快、プロ意識に欠ける又は不適切な行動を一切許容しません。

従業員は、以下に従わなければなりません。

- お互いを尊重する職場を作り、これを維持する。
- 他人の意見を積極的に聴き、自由に議論しアイデアを出すことのできる環境を作る。
- 差別につながる可能性のある明示的、黙示的又は無意識の偏見について理解、検討しこれに対処する。
- 職場の安全に関する規程に従い、業務上の事故又はケガが発生した場合は、上司又は人事部に報告する。
- 決して薬物、アルコールの影響を受けた状態で就業しない。



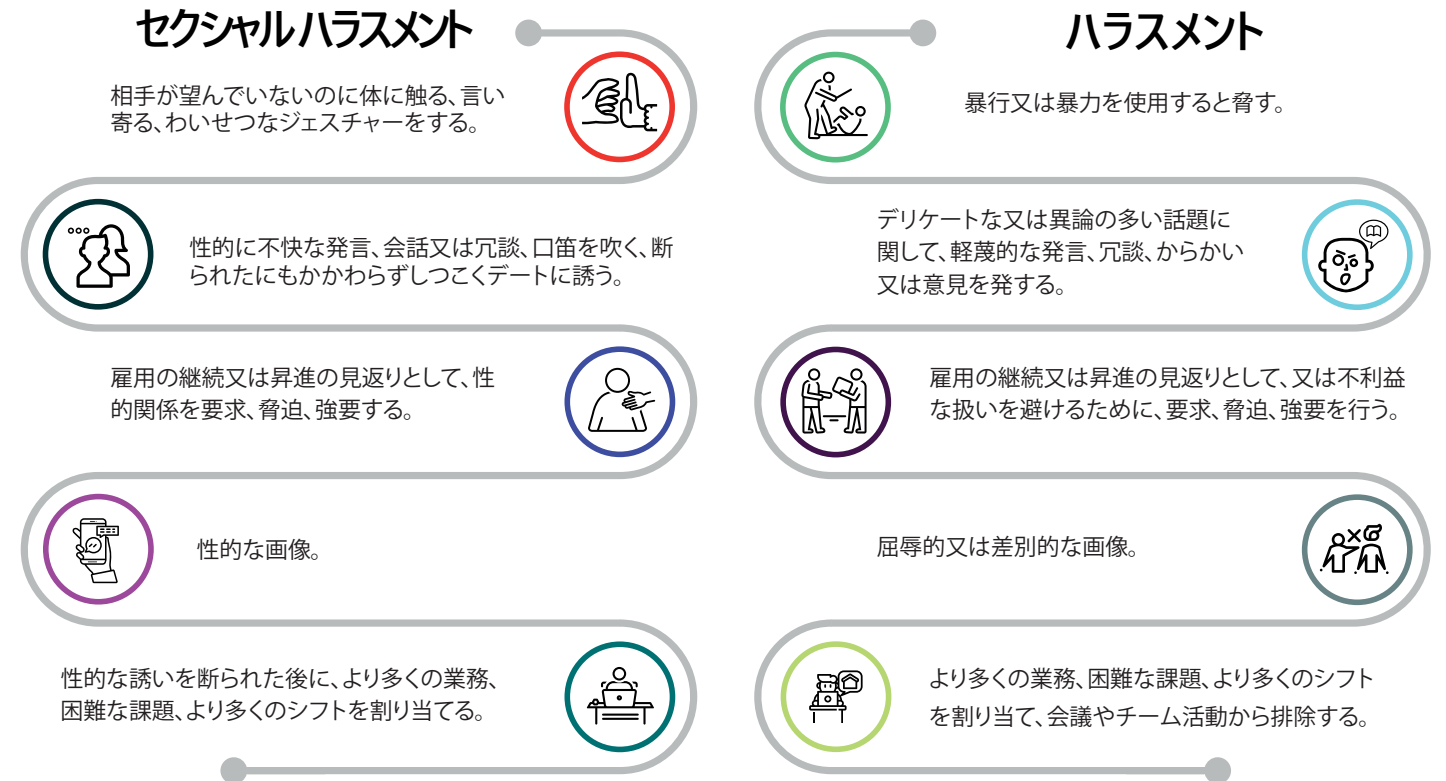
管理職の皆さんもまた、多様性のあるチームを作り受容性のある職場を築き、平等に能力開発を行うことのできる機会づくりに励まなければなりません。



多様性、平等、受容性と安全で互いを尊重する職場



ハラスメントとは





より多くの業務、 困難な課題

より多くのシフトを割り当て、
会議やチーム活動から排除する。



本行動規範

当社の
職場当社の
取引関係当社の
資産及び情報社会及
び政府法令遵守及
び通報24
Unisys
Compliance
Helpline

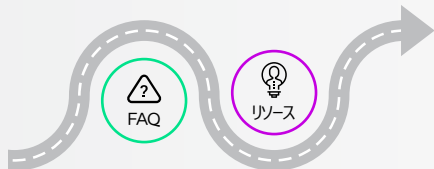
公正な 競争

ユニシスは、世界市場において精力的にただし公正に競争しています。当社は、不正な又は競争抑止的な行為を行わず、自社の製品サービスや競合他社の製品サービスについて虚偽の表明をすることもありません。

法律には、市場における競争を促進することを目的とするものが存在します。当該法律のもとで、企業が公正に競争する環境が提供され、企業は互いに又はサプライチェーンにおいて競合し、消費者には企業を選択する権利が与えられます。これらの法律では、談合、価格操作、市場や販売地域の分割・割り当て、その他競争を制限していると捉えられる可能性のある競合他社との一切の接触などの行為を禁止しています。非公式の取り決めや、当社の製品・サービスについての競合他社との情報共有でさえも、当該法律の違反になりかねません。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 競争を制限していると捉えられる可能性のある競合他社との公式、非公式の合意を避ける。
- 競争を促進する入札過程を尊重し、不法妨害と捉えられかねない利益相反その他の問題が存在する場合は透明性を確保する。
- 競合他社との接触を制限し、価格決定に関する議論その他不適切な事項はすぐに中止し、当該事項を法務部に報告する。
- 当社の独立した取引先が取引先の顧客に対して課する価格について指図しない。
- 競争に関する秘密情報は適切に、誠実にかつ透明性をもって入手する。競合他社から秘密情報を入手した場合は、法務部に連絡する。





不適切な支払い

・利益、賄賂及び腐敗

ユニシスでは取引先との取引において透明性を確保しまた取引先的意思決定に影響を及ぼす目的をもって賄賂又は不適切な支払い約束その他取り決めを申し出又は行うことをしません。これらの行為は、当社の誠実さをもって事業を行うという誓約に反するだけでなく、国内外の法律違反でもあり企業個人を対象とした重大犯罪になりかねません。

ユニシスは、営業を維持し若しくは獲得し、又はビジネス上の決定若しくは行為に影響を及ぼす目的で、又はその他一切の不適切な目的のために、政府職員や取引先に対して有価物を申し出、約束し又は供与することを厳しく禁止しています。当社が起用する第三者についても、これらの行為を禁止しており、他者が当社に代わって賄賂を供与することもできません。当社は、現金の支払い、将来的な何らかの利益の約束、割引又はキックバックの取り決めについて、これらが賄賂その他腐敗行為とみなされる可能性があるため、行うことはできません。

政府職員の定義は、国内外の法律によって定められています。場合によっては、政府機関の職員や役人及び国有企業その他公的な国際組織の職員を含みます。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 取引先又はその他第三者が政府職員に該当するかどうか判断できるようにする。
- デューデリジェンスを受け、報酬その他契約条件が最善慣行と認められるものを含んでいる第三者、代理人、コンサルタント、アドバイザーのみを起用する。
- 贈答、接待、旅費は妥当かつ適切なものとする。
- 慈善活動への寄付、従業員の雇用、第三者の起用などの行為は、通常の業務過程のみで行い、好意の見返りとして行わない。
- 会社の帳簿記録に支払い、経費を正しく記録する。





贈答

接待の申し出又は受け入れ

贈答・飲食その他接待は、得意先開拓の重要な一部でありビジネス関係向上に役立ちますが、しかしこれらが華美若しくは不適切とみなされる若しくはそのおそれがある場合、透明性を欠く場合又は正当なビジネス上の目的に無関係である場合、腐敗の疑いが生じ、賄賂としてみなされるとすべし、当該個人やユニシスにとって法的措置を招きかねません。

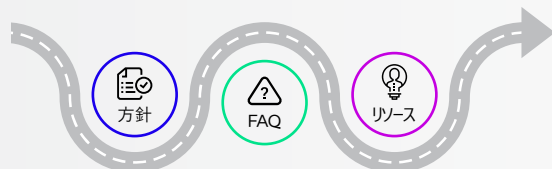
贈答・接待の適切さを確保し、定められた範囲内に収まるように徹底するためには、正しい判断と節度が不可欠です。従業員は、ユニシスの各種方針及び受領者の組織の方針に違反しないよう徹底しなければなりません。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 贈答・接待を申し出る前に、受領者の組織の規程を確認する。
- 接待と賄賂回避に関連するポリシーの当該国ガイドラインに記載する制限を確認し、それに従う。
- 特に政府職員又は公的セクターのクライアントに贈答・接待を申し出る前に、必要な場合は事前承認を得る。
- 贈答・接待が、当該機会及び当該ビジネス関係に照らし合わせて適切であることを徹底する。ユニシスのブランド表示のある物品を贈る方が、表示のない物を贈るよりも好ましい。
- 1年間の間に、1人の個人に提供した贈答・接待の累積価額が把握できるようにし、これを制限する。
- 本行動規範又は各種方針の違反となるものは、丁重に断るか、返却する。



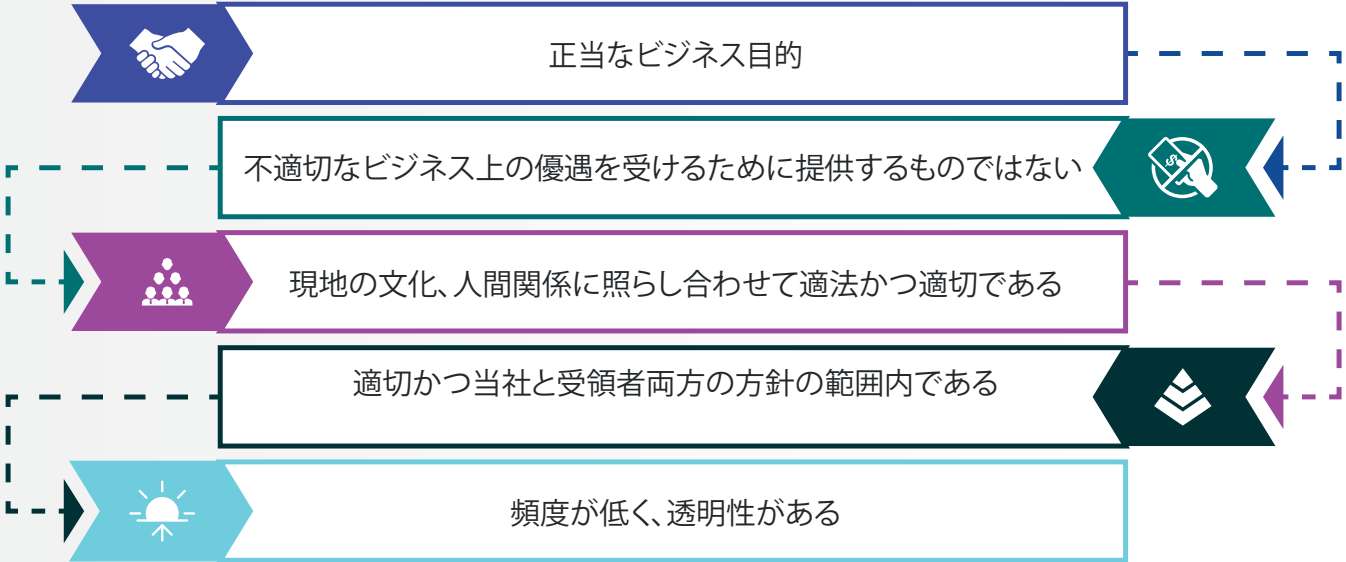
管理職はまた、自身が承認する贈答・接待費用をしっかりと監視し、当該費用が方針の範囲内かどうか不明な場合は、問い合わせを行わなければなりません。



贈答

・接待の取り扱い

クライアント、取引先、供給業者との間の贈答・接待のやり取りは、敬意をもって行えば、得意先開拓や関係の強化につながります。以下の事項を守ることで、法律やほとんどの企業に適用される規則を尊重するようにしてください。



贈答を受け取っても良い場合。自身のビジネス上の決断に影響を及ぼす意図のあるものではなく当社の方針ガイドラインに従うのであれば、贈答品を受け取ることができます。ただし、少額で適切かつ頻度の低いものでなければなりません。現金はいかなる場合も受け取ってはなりません。宿泊費又は交通費の償還は、上司及び倫理コンプライアンス室から承認を得られた場合のみ、受け取ることができます。



利益相反

状況によっては従業員の個人的利害とユニシスの利害が対立することもあります。全ての従業員は個人の利益とユニシスの利益の相反についてこれが生じていると見えることすらないようにすることが重要です。

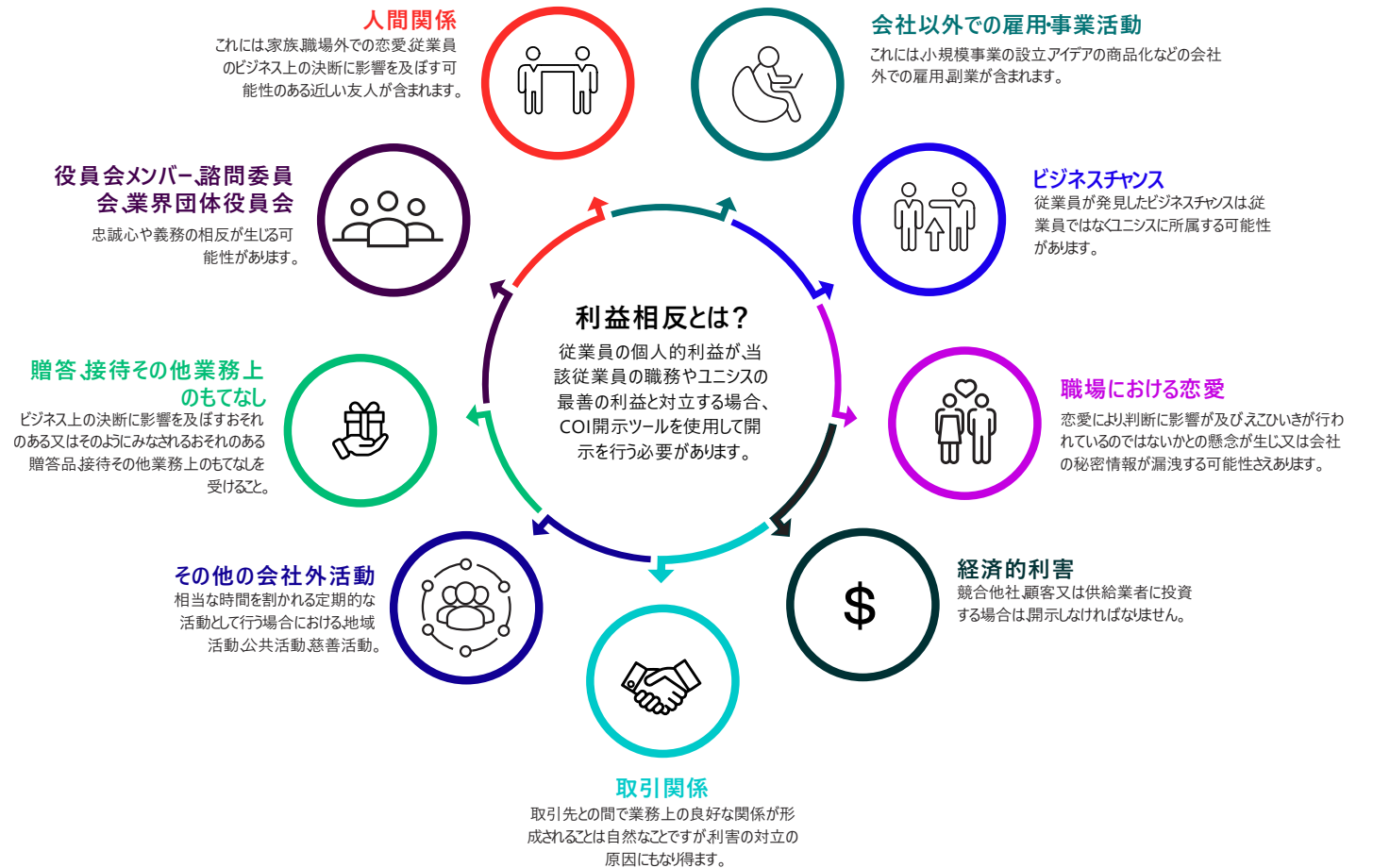
利益相反のおそれは現実には発生し、これ自体は自動的に不正行為の証拠となるものではありません。多くの場合は、利益相反のおそれが速やかに開示されれば、ほぼ又は全く対策をすることなく解決することができます。従業員の皆さんが当該情報を開示することで、従業員と会社の両方を守りつつ共に状況を切り抜けることが可能になり、会社の取引に関する透明性も可能な限り確保できます。


従業員は以下に従わなければなりません。

- 発生時に利益相反を特定できるようにする。
- 可能な場合は、利益相反を避ける。
- 益相反の可能性について速やかに(かつ、可能な場合は事前に)開示し、倫理コンプライアンス室からの許可及び上司からの承認を得る。
- 許可を得た利益相反に関して課された条件があれば、これを管理、遵守する



管理職はまた利益相反の承認条件を理解し、業績に影響を及ぼす可能性のある、許可済み利益相反事項があればこれを監視しなければなりません。





資産及び情報 に関する誠実さ

当社は、当社その他の帰属にかかわらず、資産及び情報を保護します。



ユニシスの設備備品

その他リソースの使用

ユニシスの設備備品リソースは、従業員の皆さんが業務上の目的を達成するためのものです。従業員の皆さんは、会社設備備品リソースを責任をもって公正に保護・使用しなければなりません。ユニシスは、予算や時間を含む会社設備備品リソースについて、一切の軽率・非効率的・詐欺的又は違法な使用を許容しません。

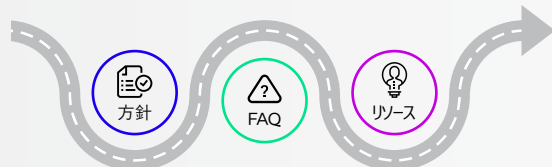
会社が提供する機材やシステムへのアクセスは、ユニシスの事業のためにのみ使用するものであり、違法行為、ギャンブル、わいせつ、憎悪に満ちた若しくは軽蔑的なコンテンツ・画像の閲覧若しくは送信、又は著作権で保護され若しくは輸出規制の対象となるソフトウェアのアップロード若しくはダウンロードの目的で決して使用してはなりません。

従業員は、以下に従わなければなりません。

- ユニシスの財源を自己の財源同様賢く使い、浪費・不正使用から保護する。
- 時間・費用の報告は、正直かつ正確に行う。
- 会社のリソース・設備備品の滅失、不正使用又は盗難につながるような状況又は事故に注意する。
- 会社のコンピューター機器、電話、インターネットシステムなどのリソースを会社の正当な事業活動の目的のみに使用する。



管理職はまた、自身のチームが会社資産を適切に管理、使用することに責任を持ち、費用報告、資産配分、資産管理について慎重に検討しなければなりません。





秘密情報

秘密情報及び知的財産

ユニシスの情報企業秘密及び知的財産は、保護の対象となる貴重な資産です。当社の秘密情報が会社外に開示されれば、競争力を失うことになりかねません。また、第三者の秘密情報、知的財産も尊重しなければなりません。これには、当社の取引先が当社と共有する情報を保護することが含まれます。当社のものであれ、他者のものであれ、情報及び着想を保護することは、当社の事業の成功、そして信頼できるパートナーとしての当社の評判にとって不可欠なものです。

従業員は、以下に従わなければなりません。

- 決して公共の場で秘密情報について議論せず、許可を得ている者又は知る必要のある者のみと共有する。
- 秘密情報をユニシスの事業のためにのみ使用し、ユニシスとの雇用関係が終了した後も当該情報の秘密を保持する。
- ユニシスの知的財産権を、著作権、商標その他知的財産権で保護し、ユニシスの技術革新の価値を守る。
- 正しい分類、暗号技術その他方法で秘密情報を保護する。
- 第三者の秘密情報又は知的財産を、使用許諾や許可なしに要求又は使用しない。



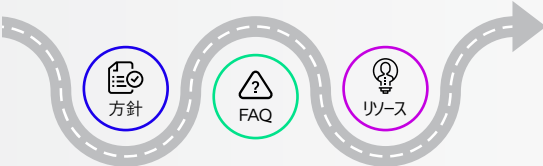
個人データ


個人データをこれが当社の従業員に属するものであれ、当社のクライアント、取引先その他第三者から当社へ委託されたものであれ、適切に使用し保護することは、当社にとって極めて重要なことです。当社が収集、処理、保管、移転する個人データの完全性及び秘密性を維持することで、当社が事業活動を行う上で不可欠となる信用を築き維持することができるのです。

当社は業務において確立された原理を用いてプライバシーバイデザインを当社の業務製品及びサービスに組み込んでいます。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 自身の業務活動において個人データとみなされる情報を特定し、その使用又は管理における要件を確認し、知る必要のある者にものみアクセスを許可する。
- 個人データを収集又は処理する際は、明確かつ正確な個人情報取扱方針を提示する。
- 特定された事業目的に必要なデータのみ収集、使用、共有する。
- データの保管、破棄に関して、適切な記録管理規則を適用する。オンやプロジェクトのデザイン又は企画において、プライバシー配慮を盛り込む。



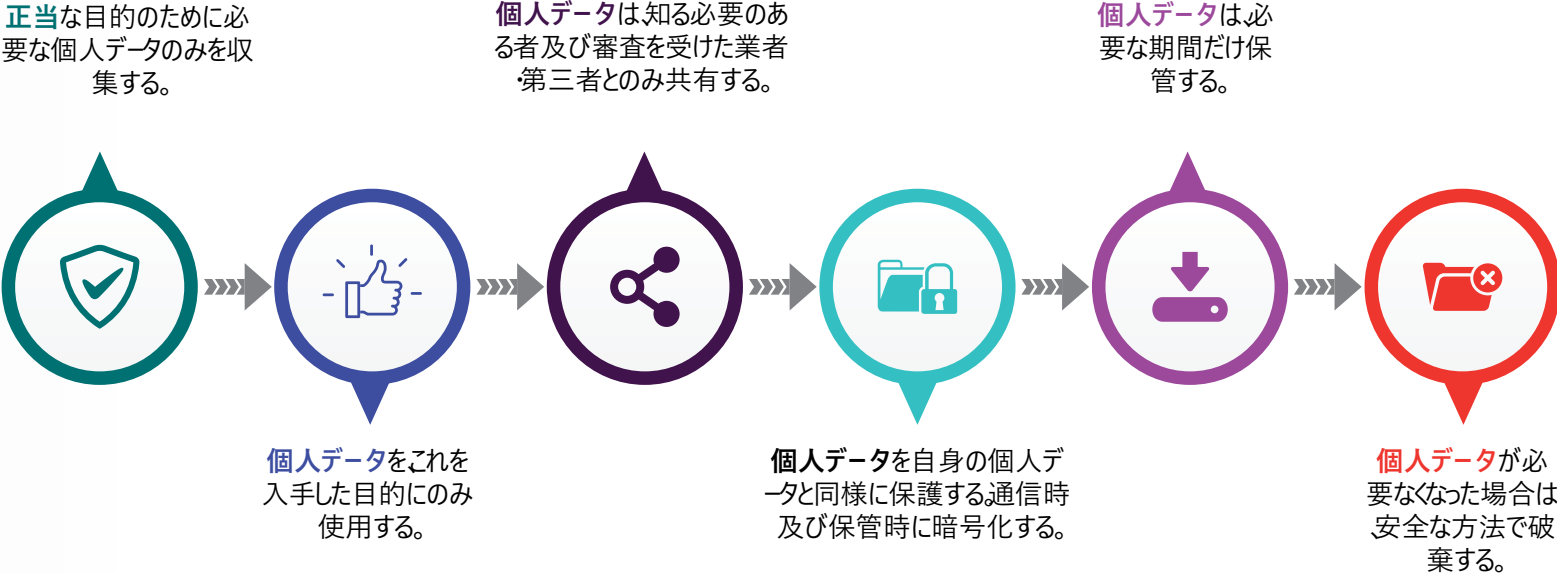

 また、管理職はプライバシー担当室と連携して、自身の業務に関連する最新のプライバシー動向を確認し、さらに助言やサポートが必要な分野を特定しなければなりません。

データプライバシーの原則

データプライバシーに関する世界的な規制は刻々と変化していますが変化にかかわらず適用される基本的な原則が幾つか存在します。

従業員の皆さんは、当社のクライアント及び従業員の個人データを保護する責任を負っています。ユニシスのクライアントはプライバシーを重要視しており、これはまたユニシスも同様です。

Follow these data principles:



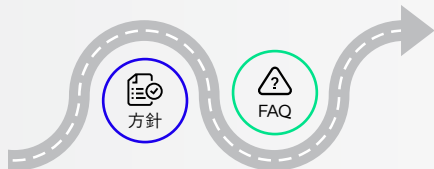


記録 管理

書面印刷物、電子データを含むユニシスの記録は、構造化の有無にかかわらず価値ある企業リソースです。ユニシスの記録は、当社の方針、手順、保存期間に従い、そのライフサイクルを通じて管理・統制しなければなりません。ユニシスの従業員が作成又は収集した記録はユニシスの所有物であり、ユニシスの所有物として保護・管理しなければなりません。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 業務目的に必要な期間だけ記録を保持し、その後は当社方針に従い破棄し又はアーカイブに入れる。
- 秘密情報は、適切な表示を行い、必要な場合は暗号化又は安全な方法で保管して、保護する。
- 訴訟などに関連すると判断される記録、調査の対象となっている記録は保存する。
- 自身が作成した記録は定期的に責任をもって見直し、法令遵守を徹底する。



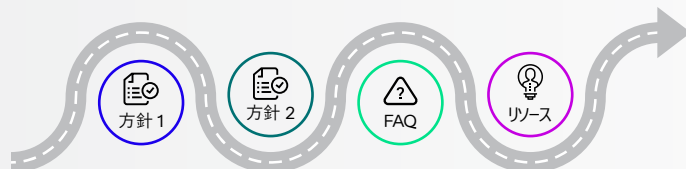


財務費用、 時間に関する正確な記録

当社は各種方針手順を維持しこれにより当社の財務報告の正確性を確保しステークホルダーへの誓約を守ることができるようにしています。ユニシスの財務報告管理プロセスの基礎は正確かつ完全な記録です。

従業員は以下に従わなければなりません。

- ユニシスの支払い及び取引が、会社の帳簿において適切に承認、記録されていることを徹底する。
- ユニシスが業務を行う各国で適用される会計報告要件を遵守する。
- タイムシートが最新のものであり、自身の勤務時間を反映しており、勤務時間が正しいコードに結び付けられていることを徹底する。
- 費用の請求は、費用明細を含め正確かつ正直に行う。
- 財務上の開示、報告は、米国証券取引委員会その他国内外の規制当局に対して正確かつ時宜に届け出る。



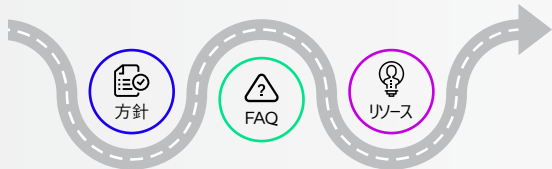



情報 セキュリティ

クライアントにセキュリティソリューションを提供する企業として、セキュリティは当社のDNAに埋め込まれています。従業員各自がユニシスのデータ及びクライアントのデータを保護する責任を有しています。各自がサイバーセキュリティに責任を持ち、また関連法及びユニシス情報セキュリティ方針を遵守することにより、情報セキュリティを維持する義務があるというのを忘れないでください。

従業員は、以下に従わなければなりません。

- 自身のパスワードを保護し、決して他人に教えない。
- パスワードは、常に複雑なものにする。
- フィッシング詐欺、ソーシャルエンジニアリングの試みを特定できるようにし、疑わしい動きがあれば直ちに情報セキュリティ部まで報告する。
- ユニシス及びクライアントのデータを安全に保護し、個人の又は携帯できる端末に保管しない。



A woman with long dark hair, wearing a bright yellow polo shirt, is looking down at a tablet computer she is holding. The background is a blurred cityscape with modern buildings, including a prominent glass skyscraper on the right.

社会及び政府との 関係における誠実さ

当社は、当社が営業する各国の法令に従い
責任ある市民として事業を行います。



公的セクター

及び政府職員との取引

公的セクターのクライアントや政府職員と取引を行う場合、当社には法令を遵守する特別な義務があります。これらの義務はロビイスト、コンサルタント、その他公的セクターにおいてユニシスを代理する第三者にも当てはまります。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 政府に関与するロビイスト、コンサルタント、その他第三者を雇用する場合、又は政府に関与する業界団体に加入する場合は、事前に政府取引担当部及び法務部から承認を得る。
- 法務部及び政府取引担当部に相談し、米国の地方、州若しくは連邦機関又はその他国外の政府機関との契約締結に関連する要件があれば、これを把握する。
- 接待、業務上のもてなしの一切が、ユニシスの贈答接待・腐敗防止方針に従っていることを徹底する。
- 現役の又は退職後の政府職員を雇用する場合は、事前に人事部及び政府取引担当部に相談する。
- 政府機関より情報要請があった場合は、直ちに法務部に連絡する。





政治 活動

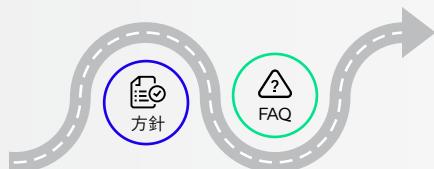
ユニシスは地方州連邦及び海外の法律に従った上での政治的プロセスへの個人の参加を奨励しています。寄付などの個人的活動はユニシスからのものである又はユニシスの後援を受けているように決して見せてはならず、従業員個人の時間と資源を使用して行わなければなりません。ユニシスはユニシスの職場若しくは施設又はユニシスのメディアチャンネルにおいて政治運動又は党派的政治活動を禁止しています。違反すれば、事業の喪失、罰金及び州政府又は連邦政府による起訴を招くことがあります。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 公職に立候補する予定又は活発に政治運動を支援する予定があれば、政府取引担当部に連絡する。
- 政治運動、政治資金調達その他政治活動のために、会社のコンピューター、電話、Eメールなどのユニシスのリソースを決して使用しない。



管理職はまた、立候補者や政党に関する支持、献金、政治運動について直接又は間接に従業員に圧力をかけ、又は従業員が他の従業員にこれらの事項について圧力をかけることのないよう注意しなければなりません。





本行動規範

当社の
職場当社の
取引関係当社の
資産及び情報社会及
び政府法令遵守及
び通報

外部とのコミュニケーション とソーシャルメディア

当社が公的に行う声明、マーケティング資料及びコミュニケーションは、正直で正確、透明性のあるものでなければなりません。メディアアナリストなどの外部に対して、ユニシスを代表して発言を許可されているのは、指定された従業員のみです。他の従業員は、企業コミュニケーション部からの許可がなければ、当該行為を禁止されています。

コミュニケーションの経路は多く存在しますが、ソーシャルメディアはユニシスが知識、専門技術、情報について連結、ネットワーキング、連携、交換する際のユニシスの風土の重要な一部です。いずれのソーシャルメディアプラットフォームを利用するにしても、分別、常識、礼儀を持つことが不可欠です。従業員がソーシャルメディアを利用する際は、常にそれが個人アカウントへの投稿であっても、当社の原則に則らねばなりません。

コミュニケーションの内容や方法は、当社が苦勞して築き上げた評判に影響を及ぼすものです。

従業員は、以下に従わなければなりません。

- 本行動規範及び当社各種方針に違反するおそれのあるものを決して投稿しない（同僚の写真や情報、秘密情報を明らかにする投稿、ハラスメントや差別とみなされるおそれのあるメッセージなどを含む）。
- 事前の承認なしに、一切の事項について会社に代わって発言しない。財務業績、戦略的事業計画、訴訟関連、公共政策関連問題などの特定の事項について会社の公式な立場を表明できるのは、許可を受けた者だけです。
- 従業員一人一人がユニシスを代表しているということを忘れず、自分のコミュニケーションの内容が、どうしたら会社の事業、価値観、ブランドを支援できるかについて考えてみる。
- 一切の投稿について、自身の個人の考えを表明するものであり、ユニシスの考えではないことを必ず明確に記載する。





本行動規範

当社の
職場

当社の
取引関係

当社の
資産及び情報

社会及
び政府

法令遵守及
び通報



慈善活動への 寄付

ユニシスは地域社会の支援活動を奨励しますが会社が行う慈善活動への寄付は会社の慣行と一致したものでなければなりません。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 寄付を行う前に、人事部及び倫理コンプライアンス室から必要な許可を得る。
- 寄付金に関して税控除が適用されればこれを利用する。
- ハードウェアを寄付する場合は、情報セキュリティ関連の要件を確実に満たすことができるよう、必要な措置を講じる(情報が削除済みであり、ソフトウェアの譲渡がライセンスに従ったものであることを証明するなど)。





本行動規範

当社の
職場

当社の
取引関係

当社の
資産及び情報

社会及
び政府

法令遵守及
び通報

24
Unisys
Compliance
Helpline

インサイダー 取引

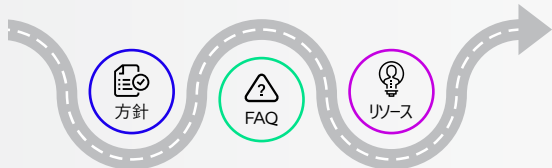
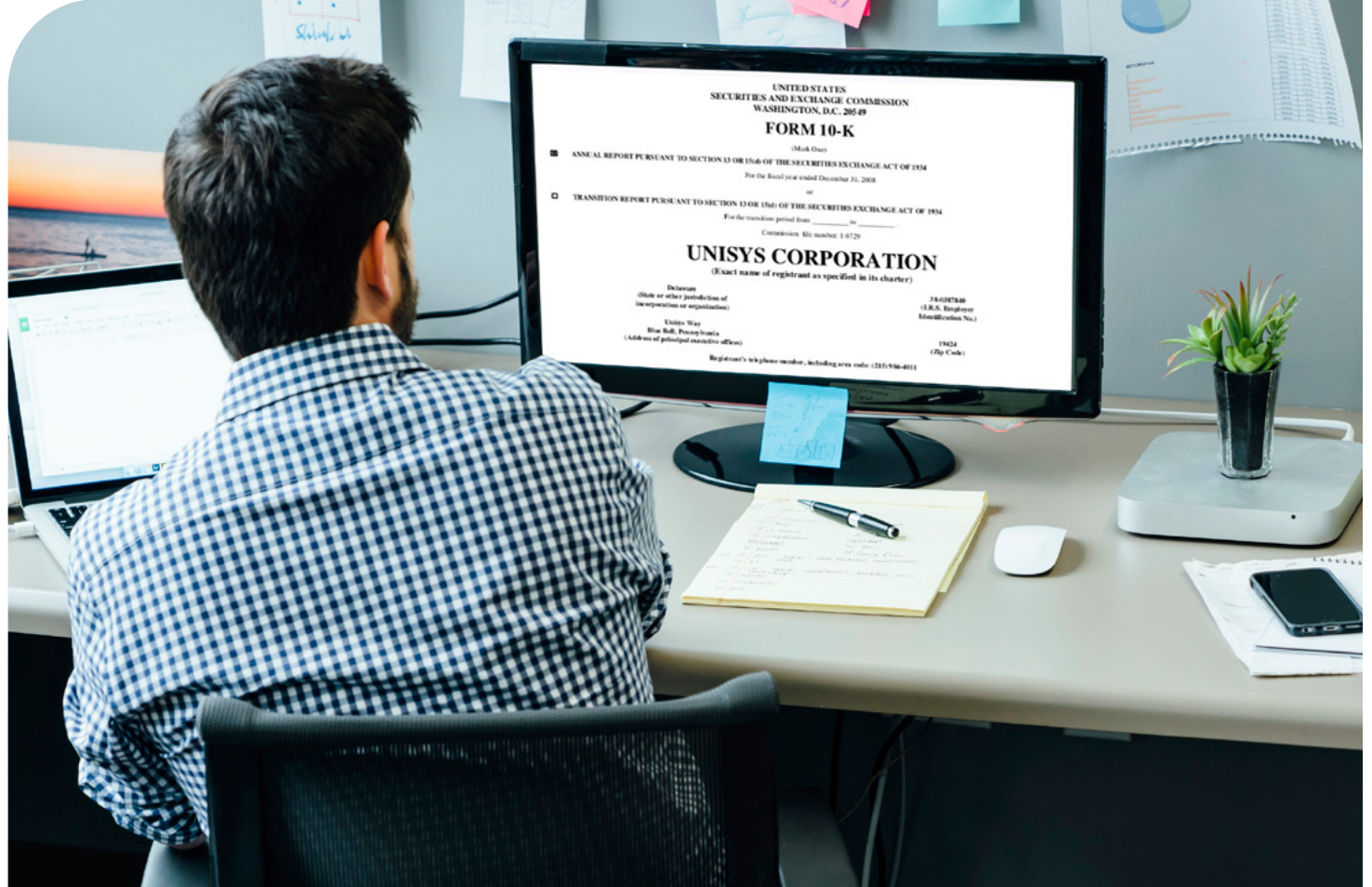
従業員はその職務において、ユニシス又はユニシスの取引先の重要な非公開情報を知得することがあります。

重要な情報とは、一般的な投資家がある会社の有価証券の売買の判断に関して重要であるとみなすであろう情報のことです。非公開情報とは、投資を行う一般人に対して広く伝達されていない情報をいいます。

重要な非公開情報を基に、ユニシスの又は他の会社の有価証券を売買することは違法行為です。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 重要な非公開情報を基に、決して有価証券の売買を行わない。
- 他の者(友人、配偶者、仲買人など)に重要な非公開情報に関する「ヒント」を決して提供せず、また、重要な非公開情報で売買することを決して推薦又は提案しない。





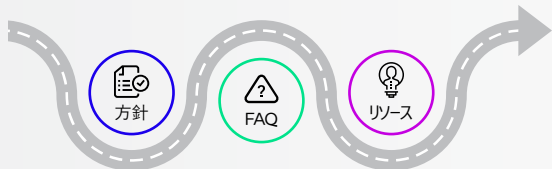
紛争鉱物及び 人権

ユニシスは、**基本的人権を尊重しています**。ユニシスの業務では、**一切の形態の奴隷制、人身売買、強制労働、児童労働を禁止しており、ユニシスのサプライチェーンにもこれらが存在しないことを徹底するため最大限の努力を払っています。**

当社は人権及び倫理的慣行について当社と価値観を共有している企業から部品供給品を調達するよう取り組んでいます。当社は紛争鉱物の使用に関する規則を遵守しており、当社の供給業者にも当該遵守を要求しています。

従業員は以下に従わなければなりません。

- ユニシスにおける自己の業務に関係する可能性のある人権関連問題を把握する。
- 当社の供給業者に対して、社会的責任を持ち、かつ雇用、人身売買、奴隷制、紛争鉱物の使用に関連する法令、基準を遵守するよう要求する。





輸出規制及び 貿易制裁

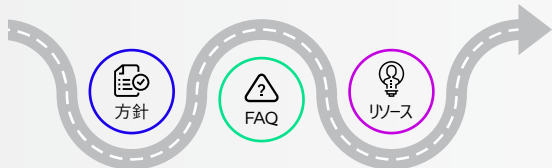
当社は当社の技術の世界的流通使用に適用される全ての法律を遵守しています。世界的な貿易規制、ボイコット、禁輸その他制裁は、当社が規制対象の者（特定の国政府及び個人など）と取引を行うことを制限又は禁止しています。これらの規則により、当社が商品、サービス、ソフトウェア、技術を輸入又は輸出する際のやり方が規定されています。テクノロジー企業として、当社は当社の製品サービスについて特に責任を持たなければなりません。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 直接の顧客及びエンドユーザーに対して当社の技術・サービスを輸出する際の各種制限について把握する。
- 必要な認可又は許可を取得する際に、輸出規制担当グループと連携する。



管理職はまた、取引先について適切なデューデリジェンスを行い、技術の輸出を伴う取引についてはその完全な内容について把握しなければなりません。





本行動規範

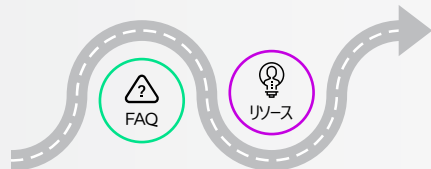
当社の
職場当社の
取引関係当社の
資産及び情報社会及
び政府法令遵守及
び通報24
Unisys
Compliance
Helpline

反マネー ロンダリング

ユニシスは第三者による不正な利益の財源の隠匿を防止する反マネーロンダリング法を遵守しています。当社では犯罪活動の収益を資金として受け取ることをしないよう、手順を確立しデューデリジエンスを行っています。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 新たな取引先と取引を行う際は、オリエンテーション手順を踏む。
- 疑わしい取引や、支払い体系について第三者から異例の要請があった場合、財務部に連絡する。





本行動規範

当社の
職場

当社の
取引関係

当社の
資産及び情報

社会及
び政府

法令遵守及
び通報

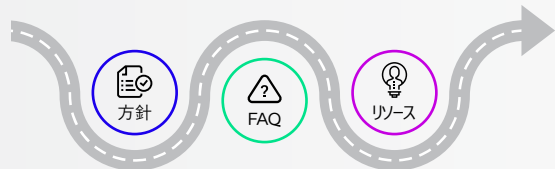
24
Unisys
Compliance
Helpline


環境

当社は、事業のあらゆる側面において持続可能性の考えを組み込んでおりこれがクライアント従業員周辺地域社会そして環境にとってより良い事業活動を行う当社の能力を強化することにつながっています。当社が事業を行う際は、環境への悪影響の可能性の低減、エネルギー及び資源の保護の促進、ごみの削減、政府が課す環境関連規制（又はこれより厳しい規制）の遵守に懸命に取り組んでいます。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 業務グループと連携し、政府が課す環境関連規制（又はこれより厳しい規制）を遵守する。
- オフィスから出たごみは当社のリサイクル制度を利用してリサイクルし、電子機器の安全な廃棄を徹底する。
- 日頃からエネルギー及び資源の保護に努め、持続可能性を促進する活動に参加する。





本行動規範 の遵守

当社の風土を左右するのは、本行動規範の遵守
や疑問点や懸念事項を提起する姿勢です



誠実さをもった業務 実施

本行動規範は誠実さをもって業務を行うことについてまた当社の各種方針及び法律の遵守に関する具体的な取り組みについて知る必要があることを全て記載している訳ではありません。従業員の皆さんは正しい判断を行い会社が提供するリソースから更なる助言を得。疑問点については問いを投げかけ疑わしい事象があればこれについて懸念を提起しなければなりません。





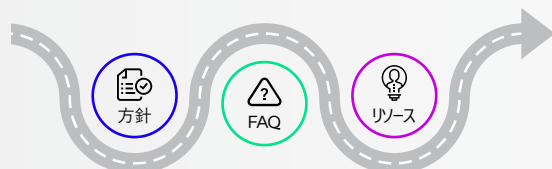
通報

各従業員は倫理的な懸念事項を有する場合又は同僚、上司若しくは委託業者が当社の方針に違反し違法行為を成し若しくは非倫理的な振る舞いをしていると疑う場合、声を上げる責任があります。当該問題が解決されたと信じる場合でも通報しなければなりません。疑義があれば、助言を求めましょう。

報復の禁止

ユニシスは報復を許しません。誠実さをもって行動することは時には気まずいこともあり、通報は勇気のいることです。それ故に当社は、善意で行った通報に対する報復を許容しません。懸念事項を通報し又は調査に参加した従業員に報復を行った者は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。

従業員が報復をされた場合、又は報復をされている他の従業員を知っている場合は、直ちに倫理コンプライアンス室へ通報し懸念事項を提起しなければなりません。



調査

倫理コンプライアンス室では、善意に行われた全ての通報を真剣に受け取り速やかに公正に内密にまた通報者の匿名性の確保のためあらゆる努力を払いこれらを調査します。従業員は倫理コンプライアンス室、人事部又は法務部が行うユニシスとしての調査の一切に協力しなければなりません。またユニシスからの情報又はユニシスについての情報の要請が政府機関その他第三者からあることもあります。調査の過程で外部の者から従業員に連絡があった場合は、丁寧かつ相手に敬意をもって接しなければなりません。要請については直ちに倫理コンプライアンス室又は法務部に転送してください。

従業員は以下に従わなければなりません。

- 一切の調査に協力する。質問には正直に答え、要請された情報は速やかに全て提供する。
- 決して自身で調査しない。
- 調査に関わった者に対して、意図的であるかどうかにかかわらず報復行為を行わないよう、自身の行動を検討する。

調査過程



従業員は本行動規範又は関連方針の違反又は違反のおそれがある場合はこれを通報しなければなりません。通報のルートはユニシスコンプライアンス相談窓口など複数あります。通報は善意に基づくものでなければなりません。通報は匿名でも可能です。

倫理コンプライアンス室が通報を審査します。倫理コンプライアンス室では通報内容が真実であれば、本行動規範又は関連方針の違反となるであろう全ての申し立てを調査します。当該問題には調査員が任命され調査計画を作成します。

当該問題は訓練を積んだ内部調査員によって又はまれに外部専門家によって調査されます。事実関係の確認が目的です。調査は会社にとって公平かつ公正に行われます。

倫理コンプライアンス室は、確認された事実関係を検討し申し立ての裏付けとなっているかどうか判断します。

違反が立証された場合、倫理コンプライアンス室は、懲戒処分を勧告し改善措置を実施又は勧告し、報復のおそれがあればフォローアップを行います。





監督

倫理コンプライアンスプログラム及び本行動規範の遵守について監督責任を有するのは、ユニシス幹部チーム及び取締役会です。

執行及び適用除外

本行動規範に違反した場合、解雇を含む懲戒処分を招くことがあります。本行動規範の規定の適用除外を申請する場合は、ユニシスの Chief Compliance Officer（最高コンプライアンス責任者）宛てに書面にて申請しなければならず、最高コンプライアンス責任者及びシネラルカウンセルにより承認されて初めて有効とします。幹部チームのメンバー又は会社の役員に対する本行動規範のいずれの規定の適用除外を行うことができるのは、取締役会のみです。役員又は幹部に対して適用除外が許諾された場合は、ニューヨーク証券取引所の上場要件並びに適用法令及び規則で義務付けられているところに従い公表されます。





本行動規範

当社の
職場当社の
取引関係当社の
資産及び情報社会及
び政府法令遵守及
び通報

コンプライアンス

倫理室への連絡方法

倫理コンプライアンス室宛てに懸念事項や疑問点を提起する際の連絡方法は幾つかあります。当該国の法律で許可されている場合はユニシスコンプライアンス相談窓口を通じて匿名で通報を行なうことができます。倫理コンプライアンス室に対して匿名の通報として扱うよう要請することも可能です。

ご自分の一番都合の良い連絡方法を選択してください。どの方法を選んでも秘密は守られますのでご安心ください。

ウェブサイト: www.UnisysCompliance.com, Eメール: ComplianceEthicsOffice@unisys.com

電話: 米国無料通話 800-732-3247/米国外の電話番号は、www.UnisysCompliance.com から。

郵便: Compliance & Ethics Office, Unisys Corporation, 801 Lakeview Drive, Blue Bell, PA 19422 USA





本文書は倫理ポリシー1.0(2021年2月23日発効)を構成しこれまでに作成されたすべての版に代わるものです。本文書の印刷版には、最新の内容を反映していない可能性があるためアクションを実行する前には、ユニシスのポリシーおよび手順のウェブサイト
で最新版を確認してください。本文書の英語版が優先して適用されます。ただし、本規範と必須の地域法の間には矛盾がある場合、地域法が適用されます。

国	無料通話番号	国	無料通話番号	国	無料通話番号
アルゼンチン	0.800.333.0095	ドイツ	00.800.1777.9999	ニュージーランド	0800.002341
オーストラリア	1.800.742.589	香港	001.800.1777.9999	ノルウェー	00.800.1777.9999
オーストリア	0800.281119	ハンガリー	00.800.1777.9999	ペルー	0800.78323
ベルギー	0800.260.39	インド	000.800.100.3428	フィリピン	00.800.1777.9999
ブラジル	800.761.1420	アイルランド	00.800.1777.9999	シンガポール	800.852.3912
カナダ	800.461.9330	日本	0800.170.5621	スペイン	00.800.1777.9999
チリ	1230.020.3559	リトアニア	8.800.30451	スイス	00.800.1777.9999
中国	00.400.120.3062	ルクセンブルク	00.800.1777.9999	台湾	00.800.1777.9999
コロンビア	01.800.518.2014	マレーシア	00.800.1777.9999	英国	0.800.085.2896
コスタリカ	506.4000.3876	メキシコ	001.866.376.0139	米国	1.800.732.3247
フランス	00.800.1777.9999	オランダ	00.800.1777.9999	ウルグアイ	000.401.912.22



unisys.com

© 2023 Unisys Corporation. All rights reserved.

ユニシスの名称その他本書に記載するユニシス製品及びサービスの名称並びにこれらそれぞれのロゴは、Unisys Corporationの商標又は登録商標です。